

第四〇六回「宣言解除」の巻

起句01)	宣言の解除待つ街沙羅(さら)の花	松陽	夏1
02)	三密避けて啼く四十雀(しじゅうから)	七緒	夏1
03)	裏窓に皐月(さつき)の富士を顧て	恆雄	夏1
04)	笠雲かかり明日は雨らし	和子	雑
月 05)	独居の身無月またよし灯をともす	笈羅	秋
折端06)	白露(はくろ)に転がる子犬の毛並み	果穂	秋
折立07)	「未来派」の息吹残れる二科の秋	七2	秋
恋 08)	星逢う夜を描く看板屋	松2	秋
09)	天翔けるブルーインパルス愛を撒く	和2	雑
10)	降り積む雪に永久(とわ)の抱擁	恆2	冬
11)	楽も消え詞も消え冴ゆる大劇場	果2	冬
12)	筵(むしろ)持参の土間で席とり	笈2	雑
月 13)	春月や名主の家で初テレビ	和3	春
14)	新樹の外苑ティアラ耀(かがや)く	七3	春
15)	聖寿には女王を仰ぐきつねだな	恆3	春
16)	ビートルズ踊り百千鳥舞う	松3	春
花 17)	騎士道よ花咲く音も聞き分けよ	果3	春
折端18)	江戸の侍いけばな嗜好	和4	雑
折立19)	鯨(はぜ)を釣る束(つか)釣り坊主気にもせず	笈3	秋
20)	幼きどちの虫採たのし	恆4	秋
21)	書肆回り走り蕎麦で飲む老文豪	松4	秋
22)	桔梗(ききょう)紫鬼平の庭	果4	秋
23)	博打(ばくち)打った御奉行様は訓告に	七4	雑
24)	諸肌脱いだ背中まぶしい	笈4	夏
25)	アルパカはモフモフ刈られ夏姿	和5	夏
恋 26)	雹(ひょう)に怯(おび)えて濃厚接触	七5	夏
27)	麻服着て命遠退(とおの)く美への恋	果5	夏
28)	死化粧なお粋な青髭	恆5	雑
月 29)	鎖橋(くさりばし)寒月ドナウに散乱す	七6	冬
折立30)	ビオラは響きペチカは燃える	松5	冬
31)	空さえて光一条路地に射す	笈5	冬
32)	マラソンコースには冬紅葉	果6	冬
33)	どこまでも黒人悼(いた)むデモ続く	松6	雑
34)	リンカーン像に届く囁り	和6	春
花 35)	花影に暫時(しばし)微睡(まどろ)む逝きし夫	恆6	春
36)	自然とともにのどやかに生き	笈6	春